

この度、特別運行列車「ＳＬ日本遺産のまち行田号」が実現し、その出発式がここ行田市駅にて開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

今回の特別運行にあたっては、行田市と秩父鉄道株式会社が連携し、観光振興・地域活性化の目玉として準備してこれたと伺っており、多くの関係者の皆様の並々ならぬご尽力の賜物と存じます。

行田市には、様々な観光資源・地域資源があります。豊臣軍の水攻めに耐え抜いた浮き城「忍城」、大型古墳が群集する特別史跡「さきたま古墳群」、日本遺産にも選ばれた足袋産業などの歴史的な史跡・文化のみならず、ギネス世界記録にも認定された世界最大の田んぼアートといった新しいコンテンツまで、これらを活用した地方創生の取組みが進められています。

その行田市に、長年にわたり、地元の方に愛されながら観光客に秩父の魅力を伝えてきたＳＬパレオエクスプレスが、「ＳＬ日本遺産のまち行田号」としてやってきました。都心からもっとも近くで乗れるＳＬ列車の行田市駅への延伸運転は、今後の更なる観光客誘致に弾みをつけるものとして、大変意義深いと思います。

私の政権では、地方を「強く」、「豊か」で、そして「新しい・楽しい」ものにしていくための「地方創生2.0」の推進を最重要課題としています。

地方創生に向けて全国各地では様々な取組みが進められていますが、鉄道はその地域の象徴ともなり得る存在であり、鉄道を軸にまちづくりや観光などの取組みを一体で進めることで、地域全体の活性化につながることが期待されます。引き続き、地域の観光コンテンツと連携した観光列車や企画列車の取組みを応援してまいります。

結びに、「ＳＬ日本遺産のまち行田号」が、汽笛一声、行田のまちを疾走し、地域活性化の追い風ともなることを祈念しまして、私からのメッセージといたします。

令和7年8月30日

内閣総理大臣 石破 茂